

下山記念文庫

東京海上火災保険株式会社と社会福祉法人聖隸福祉事業団・学校法人聖隸学園・社会福祉法人十字の園・財団法人日本老人福祉財団は、21世紀に向けて健康で、明るく、安心に満ちた活力ある長寿社会を実現するため、1989年7月31日、医療・福祉・教育・保険の総合供給事業の推進を内容とした共同事業推進に関する協定書に調印した。

この共同事業推進に関する協定書の調印は、東京海上火災保険株式会社常務取締役下山博也氏(1936年3月13日生、当時取締役火災新種業務部長)の指導力に負うところが大きく、又、聖隸クリストファー看護大学創設資金30億円の寄付金の実現にも多大な貢献を賜った。共同事業推進の協定書調印から2年後の1991年7月31日、大学校舎の定礎式に参列下さり、その後も大学の設置認可に至る経過の中で熱意をもってお力添えいただき、本学の開設を心より喜んで下さっていたが、1992年10月18日クモ膜下出血のため急逝された。

この記念文庫は、故人が生前その創設に熱意を傾けたことの印として、夫人の美紀子氏より寄せられた300万円の寄付金によるものである。聖隸クリストファー看護大学創設に熱意を傾け、これを愛して下さった故下山博也氏への敬意と感謝をこめて、ここに下山記念文庫を設置する。

1993年6月1日 学校法人 聖隸学園
理事長 長谷川了